

E V E N T R E P O R T

オープンキャンパス2022（大学院説明会・体験入学説明会）

担当教員 2022年度担当教員
総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学専攻 准教授 瀬川泰知

令和4年6月4日（土）、Zoomを用いたオンライン形式で分子研オープンキャンパスを開催しました。COVID-19の影響で令和2年度からオンラインで行っており、今年度は現地開催も不可能ではない情勢ではありましたが、オンライン化によって入学を検討する参加者の割合が増えたこと、全国どこからでも参加できるメリットが大きいことから、今年もオンラインとしました。

まずは周知が必要と考え、分子研Twitterの活用や所員へのretweetのお願い、ポータルサイト（chemstation.com、tayo.jp）への出稿などを通じて広報活動を1ヶ月間行い

ました。結果として、北は北大から南は九大まで、過去2年間を上回る34名の参加登録がありました。が、登録時のアンケート「分子研オープンキャンパスを知った経緯」への回答は「分子研HP」「分子研の先生の講義」「所属研究室のスタッフから」がほとんどであり、短期的な広報だけではなく長期的に認知度を上げていく必要があると感じました。

当日は午前10時に開始し、所長と大学院委員長による分子研・総研大の説明ののち研究室紹介を各5分で行いました。事前に撮影した5分動画の提出もOKとしましたが、リアルタイムでの説明を選択される先

生方が多く、ライブ感のある研究室紹介となりました。

午後はブレイクアウトルームを使用したラボツアーを行いました。前回参加者の「質問時間がもっと欲しかった」との意見を参考に、5研究室並列の3回制（1研究室50分）、かつ希望する学生がいれば追加対応可、としました。「ブレイクアウトルーム内ではカメラON」をお願いしたこともあり、実際に研究室見学に来たような臨場感があったかと。説明時間後に残って質問をしていた学生が見受けられたので、目当ての研究室が明確にある学生にとっては良かったと思う一方で、登録時の「興



E V E N T R E P O R T

味のある研究室」で分野をまたがって多数選択する学生が予想よりも多かったため、最大3研究室にしか参加できない今回の形式には改善の余地があったかもしれません。

オープンキャンパス参加者のうち見学・体験入学申込者は6名(7月1日現在)でした。見学をもっと気

軽にできるように、日程と行程が決まったラボツアーをあらかじめ設定しておくなど、今後さらに検討する余地はあるかと思えます。

不慣れな進行でいろいろとバタバタしてしまいましたが、参加された先生方のご協力により大きな問題なく進行できました。また総研大担当

秘書の田中さんには準備から当日の配信まで全てサポートいただきました。ポスターやスライドは広報の原田さんに作成いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

分子科学研究所体験入学

担当教員 2022年度担当教員

総合研究大学院大学 物理科学研究科 機能分子科学専攻 准教授 南谷英美

分子研では他大学等の学生さんに分子研の研究環境を知ってもらい総研大入学への関心を高めてもらうために体験入学を実施しています。2019年度までは、例年8月に参加者に一斉に体験入学をしてもらう形式でしたが、2020年度からは、新型コロナウイルス感染症対策のため、体験入学説明会はオンラインで開催し、学生さんの受け入れは一年を通じて個別に行っています。昨年度(2021年度)の参加者は合計

33名でした(うち1名は2回参加されています)。2022年度も、オンラインでの説明会開催と、通年の個別受け入れの方式を継続しています。今年度の募集要項につきましては、Webページ上で公開しております(<https://www.ims.ac.jp/education/event.html>)。

また、6月4日に開催されたオンラインでのオープンキャンパスでも第1回の体験入学説明会を行いました。通年での体験入学という柔軟性

の高い方式を活かし、各自が自分の好きな時期に分子研を訪問できることで、興味や関心を持つ学生さんが増えればと思います。小林玄器先生と奥村久士先生にはコロナ禍での本事業の実施方法について教えていただきました。また総研大担当の田中景さんには準備を含め大変お世話になりました。本事業にご協力くださいました関係者の皆様に、深く感謝いたします。

